

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 高野町おける豊かな自然と歴史資産による景観を活かした、ゆとりと風格のある街なみ環境の形成

地方公共団体名: 高野町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性が確保されている。	○
②景観形成を図るべき地域として位置付けられている又は位置付けられる予定である。 (地域名称等:高野町景観条例で定められた、高野山景観地区、高野山地区の一部)	○
③地域の住宅・建築ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
④地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
⑤緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	○
(該当するものに○) ア 老朽化した住宅ストックの更新 イ 安全面、衛生面等の居住環境の改善 ウ 子育て世帯、高齢者、障害者等の居住の安定の確保 エ 既存住宅ストックの有効活用 オ まちなか居住の推進 カ 地方定住の推進 キ 住宅・建築物の安全・安心確保 <input checked="" type="radio"/> ク 良好な住環境の整備 <input checked="" type="radio"/> ケ 地域の特色ある街並みの整備 コ その他(防災機能の向上)	
II. 計画の効果・効率性	
①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
②十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
④地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている	○
III. 計画の実現可能性	
①事業熟度が十分である。	○
②計画内容に関し、住民に対する説明等が行われている。	○
③事業の実施に当たり、自治会、商店組合など地元組織との連携が図られている。	○

社会資本総合整備計画の事後評価報告シート

(こう や ちょう高野町におけるゆた豊かなし ぜん自然とれ き し し さ ん歴史資産によるけい かん い景観を活かした、
ふ う か くゆとりと風格のあるまち街なみかん き ょ う環境のけい せい形成)

高野町

社会資本総合整備計画の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画	
① 計画の名称	高野町における豊かな自然と歴史資産による景観を活かした、ゆとりと風格のある街なみ環境の形成
② 都道府県名	和歌山県
③ 計画作成主体	和歌山県高野町
④ 計画期間	平成23年度～平成25年度
⑤ 計画の目標	豊かな自然と空海開山以来の歴史資産による景観を活かし、ゆとりと風格のある高野山独自の街なみ環境をつくり、育てる。
2. 事後評価の内容	
⑥ 実施体制・時期	高野町において評価を実施
⑦ 事後評価の結果	指 標 : ①電線類の地中化整備により、良好な景観形成空間の増大 ②地区内の住宅の改修工事等、間接補助により、景観に配慮した住宅の増加
	定 義 : ①電線類地中化路線の整備延長を計画期間内に1.0kmとする。 ②住宅等修景整備住戸を計画期間内に60戸とする。
	評 価 方 法 : 地中化延長及び修景整備戸数による実績値
	結 果 : ①電線類地中化路線1.0kmについて整備を行った。 ②住宅等修景整備を49戸行った。
	結果の分析 : 指標とした電線類地中化の整備延長1.0kmについて整備が完了し、住宅等修景整備戸数については60戸とする計画のうち49戸の整備が終わっておりますが、現在も相談件数が増えていることから今後も整備が進むものと考えられ、景観形成に重要な役割を果たすことが出来ています。また、事業の計画に含まれている3箇所のレストスペースの整備も完了し、歴史資産にふさわしいまちなみが整ってきていることから事業効果はあったものと考えられます。
⑧ 結果の公表方法	高野町ホームページへの公表及び高野町役場建設課窓口での閲覧
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨ 今後の住宅施策の取組への反映	住宅等修景整備は引き続き高野町環境維持基金助成事業により継続し整備を行っております。計画地域内のまちなみは電線類地中化事業及び修景整備の進行により、歴史資産による景観が飛躍的に改良されており世界遺産である高野山が開創1200年を迎えるためのまちなみが整ってきている。
⑩ その他	

※この事後評価は別添の社会資本総合整備計画について行ったものである。